

質的研究法演習

(単位数: 2)

担当教員:	加藤 浩 / 根本 淳子		
必修/選択	選択	社会科学分野の研究手法として、教授システム学の研究事例に即して質的にデータを扱う研究法の基礎を学ぶ。観察・面接・フィールドワークなどの質的研究法の実際、グラウンデッドセオリー・エスノメソロジーなどとその背景にある構成主義的・学習科学的アプローチ、質的分析ツールの演習などを扱う。質的研究法を用いた研究事例を見たとき、分析手法の選択及び研究手続きの妥当性が判断できるようになることを目指す。	
開講年次	1前		
	1後		◎
	2前		
	2後		○
	3前		
	3後		○
前提科目	なし		
評価の方法	[課題1-1] テキストを読み、指示に従いレポートを提出すること(20点)		
	[課題1-2] テキストを読み、指示に従いレポートを提出すること(20点)		
	[課題1-3] テキストを読み、指示に従いレポートを提出すること(20点)		
	[課題2] ビデオ分析ツールCIAOを用いた質的データの分析結果を提出すること(10点)		
内容	第1回 イン트로ダクション 質的研究法とは何か【VOD】		
	第2回 質的研究法の思想的立場のいろいろ		
	第3回 質的研究のプロセス(研究設問, フィールドへの参入法, サンプル戦略)		
	第4回 質的データ収集法(インタビューによる言語データの収集)		
	第5回 修正版グラウンデッドセオリー-M-GTA講義(1)【VOD】		
	第6回 修正版グラウンデッドセオリー-M-GTA講義(2)【VOD】		
	第7回 修正版グラウンデッドセオリー-M-GTA講義(3)【VOD】		
	第8回 エスノメソロジー講義(1)【VOD】		
	第9回 エスノメソロジー講義(2)【VOD】		
	第10回 ビデオ分析演習		
	第11回 文字テキストデータの分析法(1)		
	第12回 文字テキストデータの分析法(2)		
	第13回 MAXqdaを用いたデータ分析		
	第14回 データ分析検討会【遠隔・対面】(1)		
	第15回 データ分析検討会【遠隔・対面】(2)		